

ACG Villa Kyoto Vol. 011 | 高橋匡太 - 光様 -

2022年12月 - 2023年1月

ACG Villa Kyoto Vol. 011 | Kyoto Takahashi | December 2022 - January 2023



© Kyoto Takahashi, 2022

ACG Villa Kyotoでは高橋匡太を迎え、11回目となる企画展示を開催します。

建築物や風景そのものをスクリーンに、映像や光を投影する手法でサイトスペシフィックかつ大規模なインスタレーションを数多く手がける高橋が、人々の営みにおける空間の最小単位「家」を舞台に、見る者の感性を静かに揺さぶる物語を紡ぎ出します。

ARTCOURT Galleryが2018年にオープンしたビューイングルーム・ACG Villa Kyotoは、住宅建築において環境工学に基づく考えと日本の美意識を实践した藤井厚二が設計し、1934年に建築された数寄屋造（登録有形文化財）です。

通常の観覧は完全紹介予約制としていますが、本展示期間中は広く一般公開いたします。（事前予約・事前チケット購入が必要）

空間の内外を空気と光でつなぐ藤井厚二建築と光を自在に操るアーティスト高橋匡太。木洩れ陽、風の音、日暮後の静けさ…一年で最も日の短くなるこの季節、刻々と移ろう邸内の陰影に呼応する光の世界を体験いただければ幸いです。

◆ 作家の言葉 Artist Statement

1995年、25歳で美術家としてデビューして以来27年間、ずっと「光」を「素材」として扱ってきました。未だ「光」の魅力は僕を捉え続け、きつとその光の魅力を作品で語るには僕の一生では足りないでしょう。今一度、創作の原点に立ち戻り素材としての光に向き合いたい、そんな思いで本展覧会に臨みます。

本展覧会の会場では僕の饒舌すぎる光はふさわしくない。
季節や一日の時間の中でのこの家の光と影の移ろいはそれほど美しい。
静かな時間の流れの中、此処でしか出会えない光の佇まいをゆっくりと味わって頂ければ幸いです。

高橋匡太

ACG Villa Kyoto Vol. 011 | 高橋匡太 -光様-

ACG Villa Kyoto Vol. 011 | Kyoto Takahashi | December 2022 - January 2023

ACG Villa Kyoto

ARTCOURT Gallery

会場：ACG Villa Kyoto | 京都市左京区北白川小倉町 50-10 | www.artcourtgallery.com/kyoto

主催：アートコートギャラリー (株式会社八木アートマネジメント)

< 内覧会 > 2022年12月3日 (土) * プレス・招待者のみ

< 一般開場日 >

2022年 12月

8日(木), 9日(金), 10日(土), 15日(木), 16日(金),
17日(土), 22日(木), 23日(金), 24日(土)

2023年 1月

12日(木), 13日(金), 14日(土), 19日(木), 20日(金),
21日(土), 26日(木), 27日(金), 28日(土)

入場時間 14:00- /15:00- /16:00- /17:00- /18:00- (19:00閉場、入場は18:30まで) | 定員 各時間枠につき15名まで

入場料 税込 2,200円

< ご予約方法 > 事前予約制

下記URLよりご来訪日をクリックするとオンライン予約サイト「PassMarket」に移動します。
ご希望の時間帯をお選びいただきご予約ください。

▶ https://www.artcourtgallery.com/wp-content/uploads/AVK_Vol011_PassMarket_Link.pdf

- * 各回に入場人数制限をもうけております。1名様につき1チケットが必要です。(高校生/18歳以下無料)
- * ご予約当日のキャンセルはできません。
- * クレジット決済・PayPay決済でのチケットご購入の場合のキャンセルは、3日前までをお願いいたします。
- * コンビニ決済でのチケットご購入の場合は、キャンセル/返金できません。予めご了承ください。

ご来場の際して

- * 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、各回の入場人数制限をもうけております。必ずご予約時間にご来場をお願いいたします。
- * ご入場の際にはマスク着用と手指消毒をお願いいたします。発熱やご体調が優れないお客様には、ご入場をご遠慮いただく場合がございます。
- * 駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

ACG Villa Kyoto

アートコートギャラリーのビューイングルームとして2018年11月に開所しました。

藤井厚二設計(1934年施工)の上質な住空間に現代アーティストの作品を室礼し、四季の光を通して対峙する。

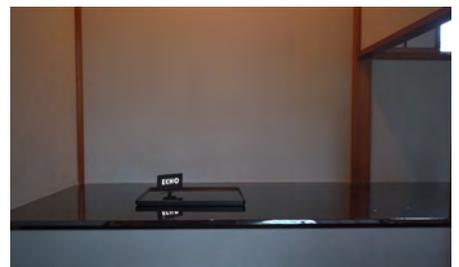
アートとの特別な出会いを提供したく、通常の鑑賞受付は完全招待予約制のみとしております。



Vol.001 Eiji Uematsu x Shiro Matsui (2018)



Vol.002 Kyotaro Hakamata x Genta Ishizuka (2019)



Vol.007 Chamber Music Kyoto
~Yukio Fujimoto-Time-Koji Fujii~ (2021)

◆ 高橋匡太 Kyota Takahashi

1970年京都生まれ。京都在住。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトでは、歴史や人々との結びつきを重視しながら、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

【主な受賞歴】

1995年 キリンコンテンポラリーアワード'95最優秀作品賞／2005年 京都府美術工芸新鋭選抜展2005最優秀賞、平成17年度五島記念文化賞美術新人賞、グッドデザインアワード2005(環境デザイン部門)／2008年 京都府文化賞奨励賞／2010年 京都市芸術新人賞／2015年 DSA日本空間デザイン賞2015優秀賞／2017年 照明普及賞(2016年から2年連続)／2018年 照明デザイン賞2018審査員特別賞、第28回日本建築美術工芸協会賞優秀賞・30周年記念美術工芸賞／2020年 第30回日本建築美術工芸協会賞ACA賞(協会賞/最優秀賞)／2021年 照明普及賞、第34回京都美術文化賞／2022年 日本空間デザイン賞 グランプリ KUKAN OF THE YEAR 2022、他多数。

【恒久設置／コミッションワーク】

2020.03 「京都市京セラ美術館ファサードライティング」京都市京セラ美術館、京都(恒久)
 2017.11 「光り織」越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」、新潟(恒久)
 2016.09 「Veil of Silky Light 光の絹衣」ワコール新京都ビル、京都(恒久)
 2015.01 「Meeting Shadow Play」浜松まちなかアート、JR浜松駅前、静岡
 2010.10 「Color Globe」愛・地球市民交流センター、愛知
 2010.04 「Prism Liquid」Milano Salone, Canon NELREAL 2010, La Triennale di Milan, ミラノ
 2008.04 「いろとりどりのかけら」十和田市現代美術館、青森(恒久)

【主なアートプロジェクト・ワークショップ】

2004- 「夢のたねプロジェクト」あわら、恵庭、大阪、金沢、山口、メルボルン
 2011- 「ひかりの実」大阪、京都、松山、横浜、他
 2011- 「Gift for Frozen Village」新潟県十日町(大地の芸術祭)
 2013- 「Glow with City Project」鎌倉、神戸、名古屋、箱根、他
 2013- 「光る雲とお散歩」京都、越谷、東京、名古屋、横浜

【主な展覧会・公演・パブリックプロジェクション・ライティングワーク】

2022.01 第34回京都美術文化賞記念展、京都文化博物館、京都
 2021.08 Reborn-Art Festival 2021-22[前期]、石ノ森萬画館、宮城
 2018.10 興福寺中金堂落慶記念ライトアップ、興福寺、奈良
 11 姫路城 光の庭 Castle of Light、姫路城・西の丸庭園、兵庫
 2016.10 個展「アードキュメント2017高橋匡太展 光のフォークロア」、金津創作の森、福井
 2015.09 六甲ミーツ・アート2015、神戸[17、'20・'22]
 琳派400年記念植物園 de RIMPA「PANTHEON-神々の饗宴」、京都府立植物園、京都
 2014.12 「東京駅100周年記念ライトアップ」東京ミチテラス2014、東京駅および行幸通り、東京
 2013.10 高橋匡太-ひかりのプロジェクト@豊田-、豊田市美術館、愛知
 01 2013京都美術ビエンナーレ特別企画展示、京都府京都文化博物館、京都
 2011.10 スマートイルミネーション横浜、象の鼻パーク周辺、横浜[12・19]
 2009.11 個展「光の航跡」仙台芸術遊泳、仙台メディアテーク、宮城
 2008.09 The 5th International Media Art Biennale-Media City Seoul、ソウル市美術館、ソウル
 2005.01 京都府美術工芸新鋭選抜展、京都府京都文化博物館、京都
 2004.03 a LIFE of EXPO、万博記念公園、太陽の塔、大阪
 2003.04 築城400年記念二条城ライトアップ、元離宮二条城、京都
 2002.12 特別招待展、サンボジオン劇場、パリ、フランス
 03 LOST and FOUND、アムステルダム市立劇場、アムステルダム、オランダ
 1996.09 個展「高橋匡太の世界 光の児童公園で遊ぼう」、キリンコンテンポラリーアワード'95 最優秀作品賞受賞記念展、キリンプラザ大阪、大阪
 1995.02 京都市立芸術大学作品展、京都市立芸術大学大学会館ホール、京都



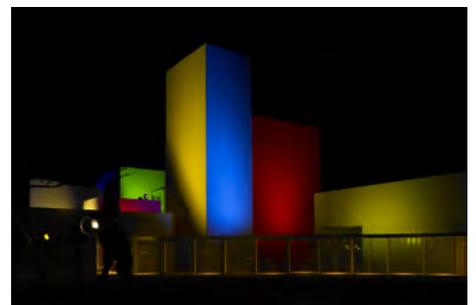
《雲の故郷へ》2022年
 第34回京都美術文化賞受賞記念展、京都文化博物館
 photo: 村上美都



《ひかりの実》2021年
 IZUMINATION in NANAKITA PARK、
 七北田公園泉ヶ池周辺、仙台
 photo: 村上美都



京都市京セラ美術館
 2020年
 photo: 村上美都



《いろとりどりのかけら》2008年
 十和田市現代美術館、青森
 photo: 北村光路